

総合事業経営による農業と地域への貢献宣言

J Aにしみのは、これまでも、これからも 総合事業経営により農業と地域へ貢献します。

協同組合の原点に立ち、組合員の皆さまとの対話を通じて、農業者の所得増大と地域の活性化に取り組めます。

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、皆さまの願いをかなえていく組織です。

J Aは、本来、農業者が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や、信用事業（J Aバンク）、共済事業（J A共済）などの様々な事業を、営農相談や生活相談事業を通じて、総合的に結び付け、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。

農業者以外の方で、地域農業の振興や地域づくりを応援していただける方は、農業の応援団として准組合員加入いただいております。

信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支の中で実施しているからこそ、J Aの経営基盤が安定し、営農専任担当者T A Cの配置や営農施設への投資が可能です。

主な取り組みは次のとおりです。

【農業への貢献】

- ①出向く営農専任担当者T A Cを17名配置し、担い手を中心に様々な提案をしています。
- ②カントリーエレベーター（8施設）、ライスセンター（4施設）、ビーンセンター（3施設）、育苗センター（8施設）、集出荷場（8施設）、選果場（2施設）、農機センター（5事業所）等、様々な営農施設を運営しています。
- ③農業者への還元や営農組織への購入助成をしています。

【地域への貢献】

- ①管内の市町と地域住民や高齢者の方を見守る活動の締結、警察4署と「安全安心まちづくり協定」を締結するなど、行政等との連携を密にし地域社会づくりへの貢献をしています。
- ②「食」と「農」の大切さを次世代等に伝えるため、様々な活動を行っています。
- ③地域の伝統行事の保存や参加等、地域活性化の取り組みに対して助成をしています。

J Aにしみのは、これまでも、これからも、農業者（正組合員）と農業の応援団（准組合員）とともに、総合事業経営により農業と地域へ貢献することを、ここに宣言します。

令和元年6月21日

西美濃農業協同組合 第20回通常総代会